

報道機関各位



平成25年度・新入社員の特徴 ～新入社員のタイプは「ロボット掃除機型」～

公益財団法人 日本生産性本部

公益財団法人日本生産性本部(理事長 松川 昌義)の「職業のあり方研究会」(座長 ライズコーポレーション株式会社 代表取締役 岩間 夏樹氏)は、平成25年度の新入社員の特徴をまとめた。この「職業のあり方研究会」は、学識経験者などで構成され、多くの企業・学校等の就職・採用関係者の協力を得ながら、その年に新卒入社者の特徴や就職・採用環境の動向などについて調査研究を行っている。

平成25年度・新入社員のタイプについて

「ロボット掃除機型」

一見どれも均一的で区別がつきにくい、部屋の隅々まで効率的に動き回り家事など時間の短縮に役立つ(就職活動期間が2か月短縮されたなかで、効率よく会社訪問をすることが求められた)。しかし段差(プレッシャー)に弱く、たまに行方不明になったり、裏返しになってもがき続けたりすることもある。能力を発揮させるには環境整備(職場のフォローや丁寧な育成)が必要。

ネーミング詳細

○平成25年入社組の就職活動の特徴 ——「時間短縮型就活の第一期生」

就職、採用活動の早期化傾向に対する社会的批判を受け、平成23年の日本経団連の申し合わせ(新倫理憲章)によって、就職活動期間(企業採用のための広報活動の解禁日)が大学3年次の10月1日から12月1日へと2か月遅くなった。今春新入社員となる若者たちはその第一期生にあたる。

今日、我が国の若年雇用を巡る状況は、リーマンショック前の就職内定率の水準には達していないものの、2年連続で就職内定率は改善傾向にあり、今春卒業予定の大学生では前年同期を1.2ポイント上回る81.7ポイントまで回復するなど(平成25年2月1日現在、文部科学省・厚生労働省調べ)明るい兆しが見えつつある。

こうしたなか、当初は就職活動期間が2か月短縮されたことで、業界研究に十分な時間が費やせないなどの準備不足や、スケジュールが慌ただしくなることなどが懸念されたが、実際には学生たちから秋に行われる文化祭でのサークル活動やスポーツ大会、文化行事への参加が可能となり、一生懸命やり遂げることができたなどポジティブな声が寄せられている。これが従来通り10月1日解禁では中途半端なかたちで終わってしまうケースもあっただろう。また、大学関係者からも本来のゼミ活動に時間を割くことが出来たという肯定的な評価が聞かれ始めている。何より就職活動のスタートにあたって学生たちが企業のエントリーシートや説明会への参加を通じ「自分が何かをやり遂げた」という事実を自信をもって表現できることは大きい。新倫理憲章の影響や効果は一年では明確に判断できないが、学生当事者にとって、2か月間の時間の短縮は影響が大きかったと思われる。

○「ロボット掃除機型」について

ロボット掃除機とは自走式の掃除機の総称である。様々なプログラミングに従って自分で動き回り、時間がくると自動的に動き始め、掃除が済むと自分で充電装置にドッキングする機能もあったりする。

機械とはいいいながら、その動きはどこか人間的で愛嬌がある。いかにも「頑張ってます、といたニュアンスの動きをする。また、使っているうちには奇妙な行動を見ることもある。多くの人が経験するのが行方不明である。たいていはソファの陰やベッドの下で立ち往生しているのだが、時には段差から転落して、裏返しになった亀のようにもがいたりする。活用するためには、ある程度、部屋が片づいていることが必要で、雑然とした環境では能力を発揮しにくい。新卒新入社員を採用した企業にあつては、育成のための研修プログラムを工夫する、組織として最初からプレッシャーを与えずコミュニケーションに配慮する、新入社員を孤立させないなど、職場として受け入れ環境を整え新人を育成して欲しい。

【お問合わせ先】 公益財団法人 日本生産性本部 「職業のあり方研究会」事務局
担当：萬田・綱藤 TEL. 03-3409-1121 FAX. 03-3409-1007

(別添) これまでのネーミング一覧

入社年度	タイプ	特徴
昭和48年度	パンダ型	おとなしく可愛いが、人になつかず世話が大変。
49	ムーミン型	人畜無害でおとなしいが、大人か子供か得体知れず。
50	カモメのジョナサン型	群れから外れやすく上空からしらけた眼で見ている。一方でめざとい。
51	たいやきクン型	頭から尾まで過保護のアンコがギッシリ。
52	人工芝型	見た目きれい根が生えず、夜のネオンでよみがえる。
53	カラオケ型	伴奏ばかりで他と音程合わず。不景気な歌に素直。
54	お子様ランチ型	何でも揃って綺麗だが、幼さ抜けず歯ごたえなし。
55	コインロッカー型	小じんまりと画一的で、外見も反応もすべて同じ。
56	漢方薬型	煎じ方悪ければ、効き目なく副作用生じる。
57	瞬間湯沸かし器型	新式と旧式の二種類存在し、反応・熱意が正反対。
58	麻雀牌型	大きさと形同じで並べやすいが、中身はわからず。
59	コピー食品型	外見のみ本物風で手間いらずだが、歯ごたえなく栄養も心配。
60	使い捨てカイロ型	もまないと熱くならず、扱い方もむずかしい。
61	日替わり定食型	期待したわりには変わり映えせず、同じ材料の繰り返し。
62	テレホンカード型	一定方向に入れないと作動しないし、仕事が終わるとうるさい。
63	養殖ハマチ型	過保護で栄養分高いが、魚らしくピチピチしていない。
平成元年度	液晶テレビ型	反応早いですが、値段高く色不鮮明。改良次第で可能性大。
2	タイヤチェーン型	装着大変だが、装着の具合次第で安全・駆動力OK。
3	お仕立券付ワイシャツ型	価格高く仕立てに時間かかり、生地によっては困難。
4	バーコード型	読み取り機(上司)次第で、迅速・正確・詳細な処理可能。
5	もつ鍋型	一見得体知れずで厄介だが、煮ても焼いても食べそう。
6	浄水器型	取り付け不十分だと臭くてまずいが、うまいければ必需品。
7	四コママンガ型	理解に時間がかからず傑作もある一方で市場にあふれているので安く調達できる。
8	床暖房型	断熱材(評価)いれないと熱(やる気)が床下(社外)に逃げる。
9	ボディシャンプー型	泡立ち(適応性)よく、香り(個性)楽しめるが、肌(会社体質)に合わないこともある。石鹸(従来社員)以外に肌を慣らすことも必要。
10	再生紙型	無理な漂白(社風押し付け)はダイオキシン出るが、脱墨技術(育成法)の向上次第で新タイプの紙(新入社員)として大いに市場価値あり。
11	形態安定シャツ型	防縮性、耐摩耗性の生地(新人)多く、ソフト仕上げで、丸洗い(厳しい研修・指導)OK。但し型崩れ防止アイロン(注意・指示)必要。
12	栄養補助食品型	ビタミンやミネラル(語学力やパソコン活用能力)を豊富に含み、企業の体力増強に役立ちそうだが、直射日光(叱責)に弱く、賞味期限(試用期間)内に効果(ヤル気)薄れることあり。
13	キシリトールガム型	種類は豊富、価格も手ごろ。清潔イメージで虫歯(不祥事)予防に効果ありそうで、味は大差ない。
14	ボディピロー型(抱き付き枕)	クッション性あり、等身大に近いので気分はいいが、上司・先輩が気ままに扱いすぎると、床に落ちたり(早期退職)、変形しやすいので、素材(新人の質)によっては、いろいろなメンテナンスが必要となる。

入社年度	タイプ	特徴
15	カメラ付ケータイ型	その場で瞬時に情報を取り込み発信するセンスや処理能力を持ち、機能も豊富だが、経験や知識がなかなか蓄積されない。また、中高年者にとって使いこなしきれない側面もある。
16	ネットオークション型	ネット上で取引が始まり、良いものには人気を殺しあっという間に売れる一方で、PR不足による売れ残りも多数。一方で、ブランド名やアピールに釣られて高値で落札したものの、入手後にアテが外れることもある。
17	発光ダイオード型	電流を通す(=ちゃんと指導する)と、きれいに光る(=いい仕事をやる)が、決して熱くはならない(=冷めている)。
18	ブログ型	ネット上での交流で、他者に自己認知や共感を求めたがる一方で、他人の評価で萎縮しやすい傾向もあり、暖かい眼差しと共感が育成の鍵。
19	デイトレーダー型	景気回復での大量採用は売り手市場を形成し、就職しても細かい損得勘定でネットを活用して銘柄(会社)を物色し続け、売買を繰り返す(転職)恐れあり。
20	カーリング型	働きやすい環境作りとばかりにブラシでこすり続けねば、止まったり方向違いの恐れあり。楽勝就職の一方で先行き不安の試合展開は本人の意志(石)次第。
21	エコバック型	環境問題(エコ)に関心が強く、節約志向(エコ)で無駄を嫌う傾向があり、折り目正しい。小さくたたためて便利だが、使うときには大きく広げる(育成する)必要がある。
22	ETC型	性急に関係を築こうとすると直前まで心の「バー」が開かないので、スピードの出過ぎにご用心。IT活用には長けているが、人との直接的な対話がなくなるのが心配。
23	はやぶさ型	宇宙探査機「はやぶさ」が7年にもおよぶ長旅から帰還したことが多くの人に感動を与えた。最初は音信不通になったり、制御不能になったりでハラハラさせられるが、長い目で見れば期待した成果をあげることができるだろう。あきらめずに根気よくシグナルを送り続けることが肝心だ。
24	奇跡の一本松型	今のところは未知数だが、先輩の胸を借りる(接木)などしながらその個性や能力(種子や穂)を育てて行けば、やがてはどんな部署でもやっていける(移植)だろうし、他の仲間とつながって大きく育っていく(松原)だろう。

資料出所:「現代コミュニケーション・センター」[所長 坂川 山輝夫 氏]資料より
(昭和48年度から平成14年度までは、現代コミュニケーション・センターが命名・発表)

※ 平成23年は東日本大震災の発生により発表を見送った。